

特集

親子で楽しく田植え体験
「いなげや田植えツアー」開催

▲いなげや田植えツアー参加者



▲慣れないながらも田植えを楽しむ参加者



▲豚汁やアスパラの天ぷらを食べる参加者

5月21日(土)に、首都圏のスーパー「いなげや」による田植えツアーがJ Aふくしま未来の安達地区本部管内の圃場(大玉村)で開催されました。当日は、抽選で選ばれた首都圏の消費者10組30名が参加しました。歓迎セレモニーでは、産地側を代表してJ Aふくしま未来菅野徳一郎安達地区担当常務理事より、「この田植えツアーを通して福島県と食を十分に堪能いただき、今後もいなげや様を通じて福島のお米をお買い求めいただきたい」と挨拶がありました。



▲田植え機による田植え体験



▲アスパラ収穫体験

途中で雨に見舞われる場面もありましたが、子供も大人も素足で田んぼに入り田植えを行いました。泥の中で慣れない作業に四苦八苦しながらも、親子で協力し、用意した田んぼに苗を植えることができました。翌日(22日)にはアスパラガスの収穫体験や直売所での地元農産物の買い物など、参加者たちは春の福島を大いに満喫しました。

園芸部

「春本番、生産者・J Aグループが一体となって春野菜の有利販売に取り組みます。」

春野菜視察研修会
春野菜販売対策会議開催!!

5月10日福島県内において、県内J A福島県農林水産部、消費地の青果物卸売市場を参集し、福島県の春野菜を代表する豆類(さやえんどう、スナップえんどう)、アスパラガス・ブロッコリーの園地視察研修・販売対策会議を実施しました。

午前中は、それぞれの品目・方部にて圃場視察研修会を開催しました。J Aふくしま未来では豆類(さやえんどう、スナップえんどう)、J A夢みなみではブロッコリー、J A会津よつばではアスパラガスを現地視察しました。関係J Aの指導員や視察圃場生産者から現在の状況などをお話いただき、参加者全員で圃場の様子と

今後の出荷見通しについて確認し合いました。

午後は農業総合センターにて販売対策会議を開催し、県内J Aからそれぞれの主力品目の今後の出荷動向の説明をいただき、青果物卸売市場からは、主力春野菜の販売に関する取組みと、今後の販売の見通しや産地への要望を報告いただきました。当県本部からは春野菜の販売方針と、今年度取組んでいく消費宣伝活動計画について報告いたしました。

今年も関係者一丸となり、本番の夏秋野菜に向け弾みをつけるべく、春野菜の有利販売を実現する所存です。

午前の園地視察



圃場視察の様子(アスパラ・いいで地区)



白河地区 ブロッコリー圃場の様子(生育順調です!!)

午後の集合会議
(半澤部長挨拶、J Aの説明、市場説明)

市場情勢・福島県産春野菜に関する要望を語る市場担当者

読売巨人軍に福島県産農畜
産物を贈呈しました!!

高橋由伸監督「大きいさくらんぼですね!」



「旨い!」と笑みがこぼれる鈴木尚広選手

5月19日、福島市の福島県営あづま球場で行われた「読売ジャイアンツ 対 横浜DeNAベイスターズ戦」にて、福島県産の農畜産物のPRイベントを行いました。

初めに福島県農産物流通課石本仁課長より、「放射性物質検査をしっかりと行い、安心・安全な農畜産物を生産する体制を整えています」とのお話がありました。続いて、読売巨人軍一副本部長が「その安心・安全な福島県産農畜産物を出荷しているのがJ Aグループ福島です」とPRし、今シー

ズンから監督に就任した読売ジャイアンツの高橋由伸監督に、米俵、福島牛、野菜セットを贈呈しました。旬のさくらんぼを試食した高橋監督は、「集まった報道陣の「美味しいですか?」の質問に対し、「美味しいです」と満面の笑みで答えていました。」

また、福島県相馬市出身の鈴木尚広選手にもさくらんぼを試食していただき、半澤正志園芸部長とともに、福島県産品の風評被害払拭に向けたPRをしていただきました。